



7がつえんだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年7月

菅生保育園

梅雨から夏にかけて気候の変化を大きく感じる時期ですね。蒸し暑さを感じる日も多いですが、子どもたちは夏を先取りし、水を使った遊びをたっぷり楽しみ、涼しい部屋でゆったり心地よく過ごしています。幼児クラスでは「わくわくサマー」もはじまり、ますます夏遊びが盛り上がっています。

行事予定

- 4日(土) 親子であそぼう会
(ひよこ・うさぎ・ひつじ組)
- 7日(火) セタ集会(ぱんだ・らいおん・ぞう組)
園医健診
(4~6月で健診を受けられなかった方)
- 15日(水) 引き取り訓練
(詳細は今後コドモンで配信します)
- 28日(火) レインボー誕生会
(ぱんだ・らいおん・ぞう組)

- *わくわくサマーは8月末まで実施します
- *防災訓練は毎月1回行います
伝言ダイヤルは1日・15日(水)です
- *身体測定は随時行っています

★★地域の行事★★

- 1日・15日(水) 親子でランチ
- 7日(火) あそびの広場



わくわくサマーとは…

夏の間、幼児クラス(ぱんだ・らいおん・ぞう組)で夏ならではの遊び(色水、泡遊びなど)を楽しむ期間のことです!

ぱんだ組の保育から

ぱんだ組では“さくらさくらんぼリズム”というリズム遊びに毎朝取り組んでいます。

子どもたちはリズムが大好きで、朝の時間だけではなく、自由遊びの時間にリズムごっこをして遊ぶ姿が見られます。友だちと一緒に好きな動きをやってみる姿はとても微笑ましいです。

初めは緊張して、参加が難しかった子もいました。しかし、自由遊びの中で友だちと楽しむうちに、自然とリズム遊びに参加する姿が見られるようになりました。

「できた!」「たのしい!」という経験を積み重ねたことで、「私にもできる!」という自信につながったようです。

今では朝のリズムにも積極的に参加し、笑顔で体を動かす姿が見られています。子どもたちの成長を感じる、嬉しい瞬間でした。

園長コラム

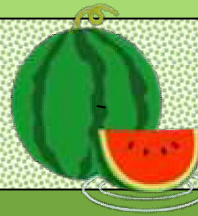
皆さんは仕事や子育て、家事などで大変なことが起こったとき、「うそ…」「もうやだ」などなど、口にすることがあると思います。私はしょっちゅうです。でもある時、「コレとアレとコレもしくなくちゃいけない…」と職員に話していると、「もう、やりがいしかないですね!」と言われました。「ええ??大変って言ってるのに?」と最初は驚きましたが、しばらくすると「そう考えると気持ちが軽くなるかも!」と思えてきました。文句を言っても1mmも大変さは減らないけど、前向きな言葉をかけられることで、気持ちが向いていく。言葉の変換ってすごい。「頑張って」だけじゃない、素敵な言葉を子どもにも大人にもかけられる人になりたいなあと感じた出来事でした。

夏の遊びについて

健康に無理なく夏の遊びを楽しむため環境省熱中症予防情報サイトの指針に合わせ、暑さ指数を実測で確認しながら戸外遊びや水遊び、プール遊びを行っています。暑さ指数3.1以上は「運動は原則中止」の為、水遊びや戸外遊びは行いません。

防犯のため、園内に入る際は必ずIDカードを身に付けてください。

7月のほけんだより



令和8年7月発行
菅生保育園

日に日に日ざしが強くなってきました。水遊びではしゃぐ子どもたちは元気そうに見えても、体は意外と疲れています。おうちではゆったりと過ごせると良いですね

・～・ 歯科健診を行いました ・～・

園医である潮見台歯科クリニックの行本先生によると、「むし歯があってもなくても、むし歯などの予防のために歯科に定期的に通うことをお勧めします」とのことでした。早いうちにかかりつけ医を見つけておくと、いざというときに慌てずに済みますね。

また、歯みがきができるようになってきたお子さんでも、最後には必ず大人の方による仕上げ磨きをお願いします。

フッ素は虫歯の発生を防ぐ効果がありますが、きれいに歯磨きしてこそ、効果を発揮します。虫歯、歯並び、噛み合わせ等で指摘された方は歯科に診てもらうことをお勧めします。



歯科健診後に、虫歯予防の保健指導を行いました！

歯科健診後、ぱんだ組、そう組、らいおん組を対象に虫歯予防の指導を行いました。それぞれの年齢に合わせた内容で、ぱんだ組には紙芝居を、そう組には紙芝居と虫歯の成り立ちを、らいおん組にはなぜ乳歯が抜けて永久歯がはえてくるのかを下記のような教材を使用して説明しました。

らいおん組は、乳歯が抜け始めた園児さんもあり興味津々で、大人の歯は1度しかはえてこないことを説明すると、目を丸くして驚くお子さんもいました。



～先月の感染症～

・溶連菌感染症 ・みずぼうそう など登園許可書が必要な疾患のほか、発熱、嘔吐、下痢などがありました。

シャワーや水遊びが本格的に始まっていきます。皮膚に異常などがみられたら、早めに受診できると安心ですね。夏の楽しい思い出を作りましょう！

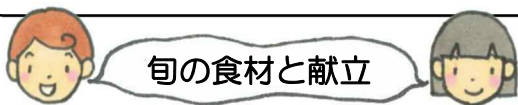
保健行事予定

園医健診 7月7日(火) 14:00ころ～ 対象：4・5・6月に健診を受診していないお子さん

7がつ きゅうしょくだより

こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年7月 菅生保育園

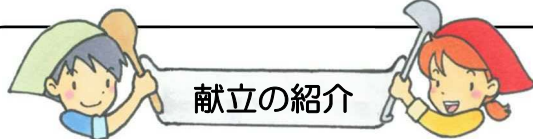


旬の食材と献立

○モロヘイヤ

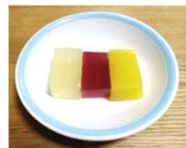
モロヘイヤは、夏が旬の緑黄色野菜です。エジプトなどの中東地域では昔から栄養価の高い野菜として親しまれ、王様の食べ物ともいわれてきました。給食で提供するモロヘイヤのスープは、子どもたちに親しみをもってもらえるよう、「**エジプトの王様スープ**」という名前をつけました。

食物繊維とβカロテンが豊富で、おなかの調子を調べ、元気な身体づくりに役立ちます。独特の粘りがあり、スープ、和え物、カレーや煮物などに使われます。



献立の紹介

- ミートソース丼（新献立）
トマトのうま味を活かしたミートソースをご飯にかけることで食欲が落ちやすい夏でも食べやすい一品です。お肉のたんぱく質と野菜の栄養を一緒にとることができます。
- 7月1日の市制記念日にちなみ、カラズカラフル寒天を取り入れました。市のブランドメッセージのロゴマークをイメージしています。



体格調査を行いました



保育園では年に2回、体格調査を実施しています。これは個々の子どもの発育を把握するためだけでなく、園の子どもたちの体格に合った給食提供を行うためです。

子どもたちの身長・体重・月齢から必要な栄養量を算出

➡ 献立や盛り付け量に反映！ しています。

保育園での
ごはんの配膳量
(7月～10月まで)

ひよこ	70g
うさぎ	80g
ひつじ	90g
ぼんだ	100g
ぞう	110g
らいおん	120g

保育園では、各クラスの子どもの体格から必要な栄養量を計算して盛り付け量を設定しています。

個々に体格は違うので、完食できたから良い/悪いではなく、その子に合った量を食べられていることが成長する上で大切と考えています。

保育園ではクラスで、1人1人が食べられる量に調整をしています。

個々に合わせた食事量は難しいですが、幼児期までのお子さんは身長と体重が成長曲線のカーブに沿っていることが適量を食べられている目安になります。



収穫物を 味わっています



春に園庭に植えた野菜たちが少しずつ実ってきました。6月下旬にはらいおんぐみの子どもたちが早速おいしく味わいました。



収穫したなすとピーマンに子どもたちは…

おいしい！

いつものピーマンの味とちがう～

日々園庭で育ちを見守ってきた野菜は、おいしさもひとしお。

これから夏にかけていろいろな野菜の収穫を予定しています。お楽しみに！

イラスト出典：いらすとや